

製品名: CD303 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08346**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CLEC4C BDCA2 CLECSF11 CLECSF7 DLEC HECL UNQ9361/PRO34150
別名	C-type lectin domain family 4 member C (Blood dendritic cell antigen 2;BDCA-2;C-type lectin superfamily member 7;Dendritic lectin;CD antigen CD303)
遺伝子 ID	170482.0
SwissProt ID	Q8WTT0
免疫原	アミノ酸配列範囲: 91-140 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

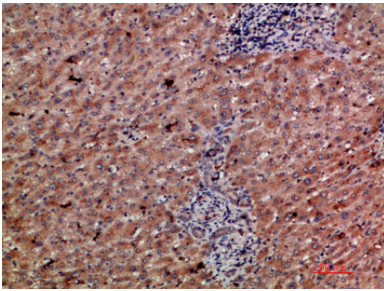
背景

この遺伝子は、C型レクチン/C型レクチン様ドメイン (CTL/CTLD) スーパーファミリーのメンバーをコードします。このファミリー

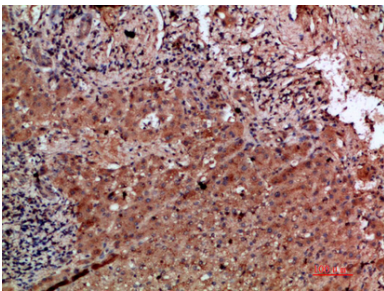
のメンバーは共通のタンパク質フォールドを共有し、細胞接着、細胞間シグナル伝達、糖タンパク質のターンオーバー、炎症および免疫応答における役割など、多様な機能を有します。コードされている 2 型膜貫通タンパク質は、樹状細胞の機能に役割を果たしている可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 抗原捕捉に関与。T 細胞への提示のために、抗原プロセッシングおよびペプチドローディングコンパートメントにリガンドを標的とします。形質細胞様樹状細胞における IFN- α/β 発現誘導の強力な阻害を媒介する可能性があります。タンパク質チロシンキナーゼを活性化し、細胞内カルシウムを動員するシグナル伝達受容体として機能する可能性があります。マンノースには結合しないと思われる。、オンライン情報:BDCA-2,類似性:C 型レクチンドメインを 1 つ含む。、組織特異性:形質細胞様樹状細胞 (PDC) で発現する。未熟単球由来樹状細胞 (iMDDC) では恒常的に発現し、LPS による成熟時に顕著にダウンレギュレーションされるが、TNF- α によるダウンレギュレーションは起こらない。、

研究分野

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された。